

## バスラ日誌（4月9日）

- 1 先日 J3 部長の交代に伴い、新部長に対し日本隊の概要についてブリーフィングを実施した。日本隊の編成、任務、配置、人道復興支援活動の概要（実績と予定等）等について簡単に説明しただけであるが、  
頷きながら真剣に聞いていただいた。デンマーク軍中佐のポストであり、印象としては、前任者は大柄で  
大きな声で話しをする親分タイプであったが、新任者は小柄で優しそうな感じの人である。説明を終える  
と早速いくつかの質問を受けた。「サマワでは地域の人々と良好な関係を築いているようだが、問題はな  
いか。」、「自衛隊の撤収はいつ頃になりそうか。」、「英・豪軍とは緊密な連携がとれているか。」等、  
答えやすい質問からなかなか答えにくい質問まで。最後に「日本隊にはエンジニアは何人ぐらいいるか」という質問があった。なぜそんなことを聞くかというと、私もエンジニアだからだと言ってガッツポーズ  
をするので『J2LOの木村1尉はエンジニアですよ。』と言うととても嬉しそうにしていた。日本でも  
施設科の団結は固いと思っていたが、施設（エンジニア）の団結が固いのは世界共通のようである。師団  
司令部でも、他の職種で目立つのは通信くらいで、妙にエンジニアの勢力が強い。業支隊長もエンジニア  
だと言うべきだったが、その時は忘れてしまった。次の機会のネタにとっておこうと思う。  
~~司令部のメンバーもかなりの人が入れ替わり、我々も3ヶ月を過ぎて少しずつベテラングループに入り~~